

- ①憲法の謳う恒久平和実現のため、
第九条の非武装・不戦の誓いを広げる。
 - ②被爆の実相を継承し、ヒロシマの声を発信する。
- 2016年度広島 YWCA 運動の課題
- ①憲法9条を守るための活動をする。
 - ②原子力発電を否定し、ライフスタイルを見直す。
 - ③敗戦・被爆70年を過ぎ、被爆証言を若い世代に届ける。

クリスマスメッセージ

「日常の中でクリスマスを迎える」

日本基督教団 広島古市教会牧師 庄司 翼 (しょうじ つばき)

今年は12月25日が日曜日として、広島古市教会では25日にクリスマス礼拝を執り行います。例年は25日に近いアドベント第4週にクリスマス礼拝を迎えていますので、25日ちょうどにクリスマスを迎えることを不思議と新鮮に感じています。調べたところ、前回、25日が日曜日だったのは2011年で、次に25日が日曜日になるのは2022年になるようです。

そう考えると、数年ごとに25日が日曜日になる年が巡って来ていることに改めて気づきますが、その中で、25日が日曜日ではない年のクリスマスをどう過ごしていたのかを振り返って思い出したりします。

そうすると、25日が平日で礼拝がない日は、その日をとてても静かな日として送っていたという印象があります。外に出てみると、吐く息が白くなり、少し薄暗く感じるような曇り空、走る車の往来する音もどことなく遠く聞こえるような気がする、そんな静けさの中にいるような、いわゆる世間一般でされているような華やかなクリスマスというものからは離れたような日を送っていた気がします。それは、クリスマスという日だからこそ感

じる、なんてことはない日常の光景なのかも知れません。

しかしながら、そうやって当たり前のように訪れると私たちが思っている、“なんてことはない日常”というものが、とても脆い基盤の上に成り立っているものだということを私たちは様々な時に、様々な場所において思い知らされています。

それは、災害であったり、または、自分たちが住んでいる領域とは違う場所で生きていかざるを得ない人たちとの出会いであったりします。

クリスマスは祝いの時であり、喜びの時でありますが、それをそのような時に、そのような人たちに良き知らせとして語ることが出来るのだろうかという思いを持つ時があります。

讚美歌21に、『キリストは明日おいでになる』という讚美歌が収録されています。

この讚美歌は、キリストが来られた時から、私たちが生きている今もなお変えることの出来なかつた生きることの困難さ、それをよしとしてしまい、黙認しているまま進み続けてしまっていることを歌っているように感じます。しかし、だからこそ、キリストが、み子として再び私たちのためにやって来てくださり、また私たちに



2016年12月3日(土)に行われた広島YWCAクリスマスのつどいの様子

希望の火を灯すためにやって来るのだという希望を続けて歌ってくれてもいるのだと感じます。

クリスマスという日を祝うということは、その日、その時だけを祝うというものではなく、神が限りなく私たち一人一人を愛されているのだという希望を改めて持ち、そしてその希望の火を隣人に渡し、希望の火を灯すリレーに参加することを改めて問われている日なのではないでしょうか。

なんてことはない日常というものの中に、私たち一人一人が愛されているという事実感謝し、その愛を用いることが私たちに委ねられていると言っていることを受け止めてクリスマスを迎え、隣人と喜びを分かち合える時としたいと願います。

日本YWCA 第32回 全国会員総会報告

広島YWCAからは5人が参加いたしました。
総会で議決の中に、第32総会期 主題聖句・
ミッション・ビジョンが採決により、承認されましたので、
ご報告いたします。

【主題成句】

平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書 5章9節—

【日本YWCAの使命(ミッション)】

イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する。

世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む。

【ビジョン】

地域で女性達が主体的に活動することを通して、以下の社会をめざします。

- (1)平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会
- (2)女性と子どもの尊厳を守る社会
- (3)若い女性がリーダーシップを発揮する社会
- (4)多世代・多文化で多様な背景を持つ人びとを尊重する社会

総会に参加して

広島YWCA 会長・代表理事 中木 風子

今総会では、昼食会で地域YWCAのPRをする時間が与えられていました。広島YWCAからはちょうど、わいわいコーラスの講師もされている中島睦理事も参加されており、金子みすゞの「わたしと小鳥と鈴と」を歌うアピールを行いました。会場のみなさんを巻き込んで、みんなで歌ったあの会場の一体感は、とても素晴らしかったです。他にない素晴らしいPRができたこと、5人で参加できたこと、に感謝と誇りと喜びの気持ちがあふれました。

総会を傍聴して

広島YWCA副会長・理事 馬庭 恭子

東京YWCA会館の1階に飾ってあるカフマン女史の肖像をみたとき、歴史の重みと同時にかつての日本に先駆的な教育をはじめ、女子に影響を与えた女性は寛容さのなかに信念を感じさせるまなざしがあるのだと感じました。

各地の地域Yの活動をはじめ、現状と課題も広島Yと共通するものがありました。会員の減少、次世代の育成、運営費の獲得など・・・

白髪は栄光の王冠といいますが、それにしても白髪たちの勢いといままでの実績には白髪まじりの私にとっては圧巻でした、80歳でもやれるのだ、年齢ではないのだと。

総会を傍聴して

広島YWCA 理事 中島 睦

この度が初めての参加でとても興味深く、楽しみな気分に参加いたしました。各地域のYWCAとのつながりを強く感じるとともに、活発な活動を知ることができました。

また、福島の高校生のエネルギー問題に関する報告が素晴らしかったです。内容もそうですが、堂々と聞き手に伝えるプレゼンテーションは見ごたえがあり、若い人たちをととても頼もしく感じました。

開催概要

【日時】

2016年11月19日(土) 9:20~19:30

20日(日) 9:15~12:45

* オープンプログラム

「絵本作家：塚本やすしトークライブ

～絵本をとおして伝える、平和～」

11月18日(金) 18:00~20:30

【会場】

東京YWCA 会館カフマンホール



会員総会 広島YWCA 1分メッセージの様子

日本YWCA 第32回全国総会に参加して

広島YWCA 評議員 難波 郁江

日本YWCAが公益財団法人になって初めての全国総会に傍聴として参加希望を申し出ました。理事会で参加を承諾していただき感謝します。今までの全国総会とは少し違っていました。今回は東京YWCAが会場で1994年に行われた総会も現在の建物で一緒に行った仲間のことを思い出しましたが会員で残っているのは私だけです。今回は分科会がなかったので今までの総会とは違って余裕のある総会でした。

長年、かかわってきた「ひろしまを考える旅」で5~6年前まで中高生や大学生として参加していた人たちが積極的にYWCAのプログラムのリーダーシップをとっていました。継続したプログラムの強みかなと思いきや嬉しくなりました。初めて参加した総会からもう35年も経過しましたが、私はその時の感動が現在の私の広島YWCAでの活動につながっているのだと確信しました。時代が変わってもYWCAの平和に対する姿勢(女性・人権・環境と向き合う姿勢)は変わっていないと信じます。

しかしスピーディーな情報システムには年齢を重ねるごとに追いついていけないと痛感しました。全国レベルのプログラムに積極的に参加するような広島YWCA会員が増えることを願います。

来年は広島YWCA創立65年であることを思いながら広島YWCAを作り上げてきた先人たちの努力を決して忘れることのないようにと祈ります。

川下ヒロエ詩画展&ランチ会 報告

広島YWCA 募金事業部会 小林 洋子

2016年11月26日(土)川下ヒロエさんを囲むランチ会には16名の参加がありました。ヒロエさんはいつも手帳を持ち歩き、散歩の途中で五感に触れるものがあつたらすぐに思うままをメモするのだと話してくれました。今、編み物など新しいことにも挑戦しているなど生き生きと語るヒロエさんは、参加者をリラックスさせてくれました。私たちに刺激してくれました。インスピレーションを与えてくれました。70歳を超えてもなお成長している、とヒロエさんのサポーターは語ります。そんなサポーターの一人である小川成樹さんには、被爆樹でバードコールを作りヒロエさんの詩画を添えて皆さんに届けるという夢があります。その夢に賛同した出席者で考えた名前は『ヒロシマピース*バードコール』。ヒロエさんの所属する『きのこ会』(原爆小頭症の被爆者と家族の会)会長 長岡義夫さんに、現在16名となっている会員の現況についてもお話しいただきました。短い時間でしたがヒロエさんを軸に素晴らしい化学反応が起きました。

※バードコール 木片につけたネジを回し鳥の鳴き声のような音を出すバードウォッチ用具



ランチ会で自分のメモを見せて、解説中の川下ヒロエさん



川下(かわしも)ヒロエ 詩画展 開催概要

開催期間：2016年11月22日(火)～27日(日) 10:00～17:00
 会場：日本基督教団広島主城教会 会堂
 主催：一般財団法人広島YWCA
 古民家ギャラリーうした (広島市東区牛田本町3-5-17)
 後援：NPOひろしまインターネット美術館
<http://hiroshima-art.net/atelier/45594.html>

おやつ
を
どうぞ

(写真は目玉焼きとほうれん草のをせたもの)

そば粉のガレット

【材料】

そば粉(国産100%) 70g 溶き卵 1/2個
 塩 少々 はちみつ 大さじ2 水 150cc
 バター
 バナナ・アイスクリーム そのほか好きなもの

【作り方】

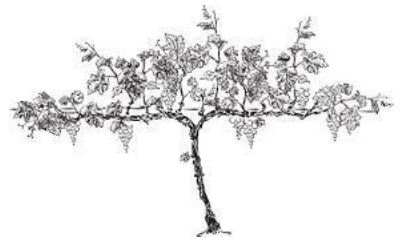
- ①まずクレープの生地を作ります。ボールにそば粉70gと塩を入れ、軽く混ぜ、水を少しずつ入れながら混ぜる。
- ②混ぜた①に溶き卵1/2を静かに入れ混ぜる。はちみつ大さじ2を入れ混ぜる。(はちみつが沈みやすいので、よく混ぜる)
- ③テフロンフライパンに小さい火でバターを少し入れ溶かし、お玉で②の1杯をフライパンに流しながら、軽くクレープのようにうすくのばす。
- ④すぐに表面は乾いてきますので、バナナをうすく切ったものを4つほどのせる。ふたをする。
- ⑤バナナが少し暖かくなったら、火を止め、お皿にのせ、バナナの上アイスクリームをのせる。

「キリスト教あいうえお」

足立こずえ

(広島YWCA会員・広島主教会牧師)

第7回 『え』



先日、おむつ作りグループ「てのひら」のメンバーの方より、ぶどうのつるで作ったリースをいただきました。「自宅のものだそうです。今回「え」で始まる聖書の言葉を探るのは結構むづかしいものでしたが、「枝」としました。

さて、「枝」は樹木などの幹から別れた茎。次に「本」から別れ出たもの。人や獣の四肢の部分とあります。それを前提に聖書大辞典では、

①揺り動かすための葉の束、
②樹木の枝です。

①の意味ではユダヤ教の祭りの時や、義人の神殿入場時の清めの役目があるようです。仮庵祭は第七の月の15日から始まる収穫祭です。

レビ記23章40節「初日には立派な木の実、茂った木の枝、川柳の枝を取ってきて、あなたたちの神、主の面前に七日の間、喜び祝う。厳しい自然条件の中で労働を通しての収穫が、ここでは民族の喜びとして祝われています。

詩篇118編では義なる者の入場で18節「主はわたしを厳しく懲らしめられたが／死に渡すことはなさらなかった」。19節「正義の城門を開け／わたしは入って主に感謝しよう。20節「これは主の城門／主に従う人々はここに入る。」(新共同訳)27節「主は神であって、われらを照された。枝を携えて祭の行列を祭壇の角にまで進ませよ。」(口語訳)。

②の意味では、「枝」は比喩的な意味で用いられます。樹木が枝を広げることが繁栄を表す意味です。しかし、一方では「枝」が焼き払われるという言い方もあり、神の審判と滅亡を暗示します。そしてしかるべきメシア(キリスト・救い主)は「枝」という称号を持つといわれています。

エレミヤ書23章5節「見よ、このような日が来る、と主は言われる。わたしはダビデのために正しい若枝を起す。王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う。」

イザヤ書11章1節〜2節では「エッサイの株からひとつの芽が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ち、その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊／思慮と勇氣の霊／主を知り、畏れ敬う霊。」

この箇所はクリスマス時によく読まれる箇所です。主のご降誕を祝うとき、イエス様が「若枝として受け入れられていったのです。けれどもその若枝はイザヤ書53章では「苦難の僕」を表し、主の受難を象徴しています。

さて、ここまですが旧約聖書の世界でしたが、それでは新約聖書ではどうでしょう。

「枝」について、とても素敵で印象深い話があります。それは「わたしはまことのぶどうの木」で始まる主イエスの御言葉です。

ヨハネによる福音書5章4節「わたしにつながっていないさかい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない」。5節「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。」

主イエスは「枝」で清めや義人のことではなく、人々を愛し私たちの身近にいてくださる神の姿を「ぶどうの木」に結びつけていることを見せてくださいました。

【お知らせ】

呉YWCAと広島YWCAを兼務していた平城智恵子幹事が、2016年9月末で呉YWCAを退職されました。それに伴い10月1日より、広島YWCAの総幹事に就任いたしました。



《年末年始の休館期間》

2016年12月28日(水)～2017年1月4日(水)

【お願い】

◎クリスマス募金 目標金額：30万円

募金の使途：○日本YWCA 東日本大震災被災者支援のため

○日本YWCA 災害時支援募金

○広島YWCAの活動のため

どうぞ、お心をお寄せいただけますようよろしくお願いいたします。

送金先 ゆうちょ銀行 01330-7-7528

加入者名 一般財団法人 広島YWCA

《 感謝 》

2016年10月1日～2016年11月30日(敬称略)

(賛助費) 六角和子 藤川玲子
(一般寄付) 河島美穂子 女子学院高校宗教部 セシリア・ミュージック・アカデミー 三上恵子 てのひら 野のユリの会
(子ども食堂) 難波郁江 御手洗裕紀子 足立こずえ 西中国教区常置委員会有志 6-7ヤーンを支える会 匿名

ご協力に心よりお礼申し上げます。



《理事会・定例会》

10月 第3回 定例会 (日時:2016年10月4日(火)19:00～21:15 会場:広島YWCA 仮会館)

1、前回議事録の確認 日韓シニアカンファレンスへの平城理事出席の件の記述削除 2、報告事項 ①部会報告 ・広報部会 10月ニュースについて、HPリニューアルについて ・平和活動部会 9の日行動のふりかえり、2016年度後半期平和講座について、・HEP部会 若草晩餐会 9月のふりかえり「お月見」参加者4人、今後の予定確認 ・募金事業部会 川下ヒロエさん詩画展取り組みについて、12/3 クリスマスのつどいチャリティオークション、クリスマス献金のお願について ・キリスト教基盤部会 11/11 合同祈禱週広島集会、クリスマスをつどいについて ②生涯教育事業 10/1「ピーター・バラカンDJライブ」報告、10/28 川越厚さん講演会役割分担、10/11 手作りカフェ陶芸の時間 ③その他 「委員会運営マニュアル」配布

3、協議事項 ①子ども食堂事業について ②会員総会陪席・傍聴者への費用補助について、地域YWCAを主体とした活動の展開について、その他(1分メッセージ・手作りお菓子・活動展示・物販)について 議題に関し、報告、協議、決定を行った。

11月 第4回 定例会 (日時:2016年11月8日(火) 19:00～ 21:15 会場:広島YWCA 仮会館) 陪席 難波郁江

1、協議事項 ①全国会員総会参加者の旅程等確認 ②参加内容、役割分担などの最終確認 ③11 月子ども食堂について 2、前回議事録の確認 3、報告事項 ①各部会 ・広報部会 11月お知らせについて、12月ニュースについて ・平和活動部会 平和講座 2017年1月21日(土)開催について ・HEP部会 若草晩餐会 10月のふりかえり「ピタパンサンド」参加者9人 11/26(土)川下ヒロエさん詩画展 ランチ会 ・募金事業部会 川下ヒロエさん詩画展 11/22(火)～ 11/27 作品搬入搬出・展示会担当について、12/3 クリスマスのつどいチャリティオークション、クリスマス募金、クリスマスカードについて ・キリスト教基盤部会 11/11 合同祈禱週広島集会内容、12/3 クリスマスのつどいについて ②生涯教育事業 10/28 川越厚さん講演会ふりかえり ③その他報告 広島市社会福祉協議会関係 11/1 広島市域社会的孤立・生活困窮者支援団体連絡会出席(平城)・11/14 広島市子ども食堂情報交換会出席(中木・平城) 議題に関し、報告、協議、決定を行った。